



（藤が丘病院）	桑澤 沙英理	歯科矯正学講座	医師	土佐 泰祥※団長	（形成外科学講座）	黒木 知明	（麻酔科学講座）	細谷 俊祐	（横浜市北部病院 手術室）
（昭和大学病院）	村木 美紀	手術室	看護師	中納 治久	（麻酔科学講座）	三浦 優一	（形成外科学講座）	河野 達樹	（横浜市北部病院 手術室）
（藤が丘病院）	ヘリズ・マニニヤイナ	（歯科矯正学講座）	医師	土佐 泰祥	（形成外科学講座）	黒木 知明	（麻酔科学講座）	ニリーナ・エイドリアン	（横浜市北部病院 手術室）
（昭和大学病院）	古藤 瑠子	手術室	看護師	桑澤 沙英理	（形成外科学講座）	三浦 優一	（麻酔科学講座）	マニジャーノ※留学生	（横浜市北部病院 手術室）
（藤が丘病院）	三浦 健	（総務部総務課）	事務職員	（学事部学事課国際交流係）	（学事部学事課国際交流係）	（総務部総務課）	（学事部学事課国際交流係）	北風 和也（医学部5年生）	（横浜市北部病院 手術室）
（藤が丘病院）	古藤 瑠子	（総務部総務課）	事務職員	（学事部学事課国際交流係）	（学事部学事課国際交流係）	（総務部総務課）	（学事部学事課国際交流係）	原 隆蔵（歯学部5年生）	（横浜市北部病院 手術室）
（藤が丘病院）	三浦 健	（総務部総務課）	事務職員	（学事部学事課国際交流係）	（学事部学事課国際交流係）	（総務部総務課）	（学事部学事課国際交流係）	樋口 照真（歯学部5年生）	（横浜市北部病院 手術室）
（藤が丘病院）	古藤 瑠子	（総務部総務課）	事務職員	（学事部学事課国際交流係）	（学事部学事課国際交流係）	（総務部総務課）	（学事部学事課国際交流係）	溝口 麻鈴	（横浜市北部病院 手術室）



本学がもつ8つの附属病院は、学生の臨床実習のほとんどを行っているだけでなく、将来の就職先にもなっていることから、今年から保健医療学部の一日体験入学を附属病院で開催することにした。午前中は手術室や病棟、リハビリテーション室といふた施設を見学し、昼は学生S-I（スチューデント・トラクター）と大学

生活などの話をしながら和やかに食事をした。午後からは各学科の技術などを学び、学科の特性や医療への理解を深めた。また、感染管理対策演習では防護服の着用体験も行つた。参加した高校生らは「満足」と感想を述べていた。



医学堂書店
品川区旗の台電話(03)3783-9774

女性スタッフによる
きめ細やかな
パーティーのお手伝い
就任パーティー・退任パーティー・祝賀会
親睦会・忘年会・同窓会・医局旅行など
会場手配・出席席管理・会費管理
招待状発送・交通手配
昭友商事株式会社 03-3784-8280
PARTY

あなたの成長をサポートする
体制がここにあります！

昭和大学附属病院【看護職員募集】
◆問い合わせ◆
0120-703-831
お気軽にお問い合わせ下さい／採用担当者
◆統括看護部ホームページ◆
[統括看護部]と入力すればすぐ検索できます

昭和大学の初年次全寮制教育を高校生に知つてもらうと、富士吉田キャンパス入寮体験が7月29日から一泊二日で行われた。このイベントは、1年生が一時退寮となる夏季休暇の期間を利用して、学生が実際に共同生活を送る寮に宿泊しながらさまざまな体験をすることで、全寮制教育に魅力を感じて、本学への進学に前向きになつてもうことを目的に、今年初めて開催された。当日は全国各地から集まつた34人の高校生を教職員と学生S-I（スチューデント・インストラクター）が迎え入れた。高校生たちにはじめは緊張した様子も見られたが、一日目は自己紹介ゲームや学食体験、キャンパス内外への見学ツアー、自然教育園での収穫体験や化学実習などを通じて次第に打ち解け、夕食時には自分たちで収穫した野菜を食べて富士吉田の自然も存分に味わつた。二日目では、グループに分かれてディスカッションを通じた問題解決をすることで、チーム医療や寮での集団生活の一端を体感した。最後は学生S-Iや教員との座談会が行われた。参加した高校生からは「本当に昭和の学生になつたようであつた」「オーブンキャンパスではわからぬところまでよく知ることができた」などの感想が寄せられた。

昭和大学の初年次全寮制教育を高校生に知つてもらうと、富士吉田キャンパス入寮体験が7月29日から一泊二日で行われた。このイベントは、1年生が一時退寮となる夏季休暇の期間を利用して、学生が実際に共同生活を送る寮に宿泊しながらさまざまな体験をすることで、全寮制教育に魅力を感じて、本学への進学に前向きになつてもうことを目的に、今年初めて開催された。当日は全国各地から集まつた34人の高校生を教職員と学生S-I（スチューデント・インストラクター）が迎え入れた。高校生たちにはじめは緊張した様子も見られたが、一日目は自己紹介ゲームや学食体験、キャンパス内外への見学ツアー、自然教育園での収穫体験や化学実習などを通じて次第に打ち解け、夕食時には自分たちで収穫した野菜を食べて富士吉田の自然も存分に味わつた。二日目では、グループに分かれてディスカッションを通じた問題解決をすることで、チーム医療や寮での集団生活の一端を体感した。最後は学生S-Iや教員との座談会が行われた。参加した高校生からは「本当に昭和の学生になつたようであつた」「オーブンキャンパスではわからぬところまでよく知ることができた」などの感想が寄せられた。

昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団に参加するメンバーの結団式が8月28日、旗の台キャンパスで行われた。本学職員からは医師、歯科医師、看護師をはじめ、学部人留学生ら17人が派遣される。学生、大学院生、マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団に参加するメンバーは9月9日に出発し、9月23日に帰国する。この事業は、アフリカ大陸東部の島国、マダガスカルで口唇口蓋裂に苦しむ子どもたちを助けようと、2011年5月から毎年行われる。

昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団に参加するメンバーの結団式が8月28日、旗の台キャンパスで行われた。

富士吉田キャンパス 一泊一日の入寮体験



学校法人 昭和大学

発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 ~142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回 発行

9月号の内容

- 1面
・富士吉田入寮体験
・薬学部・保健医療学部1日体験入学
・マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団結団式

- 2面
・歯学部山本教授らのグループが口腔洗浄装置に関する特許を取得
・夏季スポーツ大会競技結果
・デフリンピックで早瀬久美さんが銅メダル
・イベント案内

- 3面
・平成29年度 科学研究費助成事業採択課題一覧（歯学部）

- 4面
・蜂須客員教授世界パワーリフティング選手権大会2連覇達成
・旗が岡盆踊り大会
・ブラック・ジャックセミナー
・就任のお知らせ
・昭和大学サポート寄付金寄付者上條記念館座席プレート申込み状況

マダガスカル口唇口蓋裂 医療協力団 結団式



れ、今回が7回目となる。
マダガスカルの首都アンタナナリボから約170キロ南下したアンツィイラバのクリニックアヴェマリア病院で、ニックアヴェマリア病院で、現地スタッフとともに手術

や治療を行う。
団長の土佐泰祥准教授（医学部形成外科学）は「みんなでがんばつていい成果をあげてみたい」と意気込みを語った。

（医学部形成外科学）は「み

んなでがんばつていい成果をあげてみたい」と意気込みを語った。

【問合せ先】
[本紙について：総務課出版・WEB・フォト係]
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
[各種募金・寄付について：企画課]
03-3784-8011
[学事について：学務課・大学院・卒後教育課、入学支援課]
03-3784-8022（旗の台）
0555-22-4403（富士吉田）
045-985-6503（横浜）
03-3784-8026（入学支援課）